**「小児看護における倫理的看護実践に関する認識および卒後研修の課題」に関する調査**

**本調査は以下の目的で設定した各質問について該当する選択肢を選択または記入し、オンラインフォームで回答を求めます。**

**●**本調査の目的は、小児看護における倫理的看護実践に関する看護師の認識および研修の現状と要望を明らかにすることです。

●所要時間は15分程度です。　　**締め切り：202　　年　　月　　日（　　　）23：59**

**●倫理的配慮**

調査は無記名で行い、個人が特定されることはありません。無記名での回答のため、調査を撤回される場合は、回答を送信する前までに限り可能です。

　本調査への協力は自由参加であり、不参加でも不利益はありません。上司や所属先の方に協力の可否を伝える必要はありません。

　記述回答に固有名詞が書かれた場合は、記号化して記録します。

　回答内容は外部に流出しないよう管理を厳重に行います。また、データは本研究目的以外には使用いたしません。

データの保存は、研究結果の最終公表を研究機関の長に報告した日から3年を超過した日まで保管し、3年を超過した後，デジタルデータは完全に消去するツールを使用して確実に消去いたします。

尚、本研究は、　　（　　　　　）　研究倫理委員会の承認を得て行います。

●上記についてご理解いただいたうえで研究協力に同意していただく場合は以下にチェックし、回答を進めてください。

* **研究協力に同意する**

|  |
| --- |
| **＜地域＞**□北海道　 □東北　 　 □関東 　　□中部 　□ 近畿　　 □ 中国 □四国 　 □九州・沖縄　 　 |
| **＜病院の形態＞**　　□一般病院　　　□小児専門病院　　　□診療所（開業医）　　　□障害児施設　　　□その他（　　　　　　　） |
| **＜施設病床数＞**　　　　　□なし 　□200床未満　 　　　　□200～300床未満 　 　 □300～500床未満　 　□500～700床未満　　　　　　　□700～900床未満　 　□900～1100床未満　　　　□1100床以上 |
| **＜病棟の体制＞**　　□小児病棟　　　□小児内科系病棟　　　□小児外科系病棟　　　□成人診療科との混合　　　　　　　　 　□集中治療室　　□小児科外来　　　　□一般外来　　　　　　□救急外来 |
| **＜病棟の病床数＞**　□なし　□10床未満　　　□１０～２０床　　　　□２１～３０床　　　□３１～４０床　　　　□４１床以上 |
| **＜病棟の看護師数＞**　□5名未満　□6～10名　□11～20名　□21～30名　□31～40名　□40名以上 |
| **＜職　　位＞**　 　　　□管理職（師長、部長）　　　　□主任　　　　□スタッフ　　　　□その他（　　　　　　　　　　　） |
| **＜看護師の職務経験＞**　　□３年未満　　　□３～５年　　　□６～１０年　　　□１１～２０年　　　□　２１年以上　　 |
| **＜小児診療科の職務経験＞**　 □３年未満　　　□３～５年　　　□６～１０年　　　□１１～２０年　　　　□２１年以上 |

●**ご記入いただいている方の背景をお尋ねします。**

1. **あなたの病棟では、検査や処置、手術などの際、事前に子ども/親に心理的準備をしていますか。(複数回答可)**

□医師が親に事前の説明をしている

□医師が子どもに事前の説明をしている

□看護師が親に事前の説明や心理的準備をしている

□看護師が子どもに事前の説明や心理的準備をしている

□心理の専門家やプレイスペシャリストが親に事前の説明や心理的準備をしている

□心理の専門家やプレイスペシャリストが子どもに事前の説明や心理的準備をしている

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

1. **子ども/親への心理的準備を実施するのは主に誰の役割だと思いますか？１つ選んでください。**

□医師の役割である

□看護師が行う必要がある

□特別な研修や訓練を受けた人が行う必要がある

□心理の専門家やプレイスペシャリストが行う必要がある

□医療チームで行う必要がある

1. **検査や処置、手術などの際、事前に子どもに心理的準備をすることは必要だと思いますか？**

□常に必要だと思う

□状況に応じて必要である

□あまり必要でない

□まったく必要でない

**４．どの年齢層の子どもに事前の説明や心理的準備を行うことが多いですか？(複数回答可)**

□3歳未満　　　　□３～5歳未満　　　□５～10歳未満　　　　□１０～15歳未満　　　□15歳～20歳未満

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **５．　子どもに対する心理的準備は、なぜ必要だと思いますか？**質問ごとに該当する回答を「全くそう思う」～「全くそう思わない」から１つ選び右欄に○をつけてください。 | 全くそう思う | 少しそう思う | あまりそう思わない | 　全くそう思わない |
| 子どもも大人と同じようにインフォームド・コンセントを受ける権利があるから |  |  |  |  |
| 子どもの不安を軽減するため |  |  |  |  |
| 子どもとの信頼関係をつくるため |  |  |  |  |
| 親との信頼関係をつくるため |  |  |  |  |
| 検査・処置などをスムーズにするため |  |  |  |  |
| 子どもの情緒の発達に悪影響を及ぼさないため |  |  |  |  |
| 医療や看護の質の向上のため |  |  |  |  |

**６-(１)　子どもへの心理的準備を実施する場合、どのような方法で行っていますか（複数回答可）**

　 □口頭での説明

□パンフレットや絵本を使う

□人形や玩具を使う

□ビデオを使う

□実際に手術や処置が行われる場所に連れて行く

□病棟の壁などを子どもの好む色や飾りにする

□その場で絵をかく

□ピエロ（クリニクライン）が子どもたちの病室を訪問する

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**６-(2)　上記で「口頭での説明」を選んだ方はお答えください。　（選んでいない方は7へ）**

**口頭で説明する場合、どのように説明をしていますか？（複数回答可）**

　 　□実施する処置や検査のことをそのままの言葉で伝えている　　例）胸の音聞かせてね、血圧はかるよ

□わかりやすい言葉に変えて口頭で説明している　　例）もしもし(聴診)するよ、　シュポシュポ(血圧測定)するよ

　 　□ジェスチャーを交えて口頭の説明をしている　　　例）血圧測定する腕を示す

　　 □まず子どもに自己紹介をしてから、口頭での説明をしている

　　 □実物を見せながら口頭で説明している

　　 □その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**７．子どもへの心理的準備をする場合の内容はどんなことですか？（複数回答可）**

　□本人の病気や病状について

□治療法について

□注射など、痛みを伴う処置について

□手術について

□看護ケアについて

□心電図やMRI・CTなどの検査について

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **８．子どもへの心理的準備を行わない（行えない）場合がある時は、どのような理由からですか？** 質問ごとに該当する回答を「全くそう思う」～「全くそう思わない」から１つ選び右欄に○をつけてください。 | 全くそう思う | 少しそう思う | あまりそう思わない | 全くそう思わない |
| 他に仕事があり、説明の時間がない |  |  |  |  |
| 説明のタイミングが合わない（機嫌が悪かったり、睡眠や処置の時間が重なったりして） |  |  |  |  |
| 両親に説明した方がよい |  |  |  |  |
| 子どもへの説明や心理的準備は家族の責任である |  |  |  |  |
| 子どもに説明しても分からないと思う |  |  |  |  |
| 子どもが関心を持たないと思う |  |  |  |  |
| 子どもが逆に不安感・恐怖感を抱くと思う |  |  |  |  |
| 検査や処置について子どもに言ったらよいことや言ってはいけないことがわからない |  |  |  |  |
| 子どもの入院期間が短いので効果的な説明や準備ができない |  |  |  |  |
| 検査や処置を急に知らされるので子どもに説明や準備をする間がない |  |  |  |  |
| 看護の仕事ではないと考えている |  |  |  |  |
| 心理的準備やプレパレーションの内容について知らない |  |  |  |  |
| 具体的な方法がわからない |  |  |  |  |
| 説明に必要な物品がない |  |  |  |  |
| 新型コロナウイルス感染症拡大により体制の変化や業務増加による |  |  |  |  |
| その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **９．　心理的準備を行っていくために必要なことは何だと思いますか？**質問ごとに該当する回答を「全くそう思う」～「全くそう思わない」から１つ選び右欄に○をつけてください。 | 全くそう思う | 少しそう思う | あまりそう思わない | 全くそう思わない |
| 職員の数を増やし、時間にゆとりを持てるようにする |  |  |  |  |
| 病棟の業務を整理し、子どもに関わる時間を増やす |  |  |  |  |
| 心理的準備の必要性や意義を理解することが必要 |  |  |  |  |
| 検査や処置が行われる情報の伝達方法を改善する |  |  |  |  |
| 短時間でできる心理的準備の方法を知る |  |  |  |  |
| 不安を軽減する効果や方法を知ることが必要 |  |  |  |  |
| 子どもに必要な情報を伝え助言や説明を行うことが必要 |  |  |  |  |
| 子どもが時間的な準備の段階を整理することが必要 |  |  |  |  |
| 物品（人形や玩具など）購入のために経済的な支援が必要 |  |  |  |  |
| 子どもの心理的準備に関するセミナーや研修会を行うことが必要 |  |  |  |  |
| プレイスペシャリスト（遊びや心理の専門家）の養成が必要 |  |  |  |  |
| 他職種（心理士、プレイスペシャリスト　）との連携・協力を得ることが必要 |  |  |  |  |
| 医師との連携・協力を得ることが必要 |  |  |  |  |
| その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

**10―１）子どもへの心理的準備や情緒的支援等について学んだことがありますか？(複数回答可)**

□子どもへの「プレパレーション」の概念や心理的準備の方法を学んだ

□子どもへの一般的な情緒的支援の方法(遊び、関わり方など)を学んだ

□不安を軽減するための一般的な心理学の内容を学んだ

□上記のいずれも学んだ記憶がない

**１０－２）　１０－１）で選んだ内容を学んだ主な時期・場所はどこですか？（複数回答可）**

□専門学校や大学など基礎看護教育の時

□卒業後に参加したセミナーや研修会

□卒業後に進学した大学院や資格取得課程

□勤務した所属病棟が開催した研修会や勉強会

□勤務時に先輩や上司、プリセプター等から学んだ

□勤務時に医師、心理士などから教えてもらった

□独学で資料や本を入手し学んだ

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**11．セミナーや研修会に参加する場合、どんな内容を学びたいですか？（複数回答）**

□子どもの権利の歴史的変遷

□子どもの発達の特徴

□子どもへの心理的準備の発達段階別の方法

□日常的な倫理的看護実践の方法

□倫理的な問題の解決方法

□子どものフィジカルアセスメントの方法

□子どもの救急処置

□子どもへの日常的なケア

□子どもへの注射や点滴など痛みを伴う処置

□子どもへの声かけなど関わり方

□子どもの反応への対応方法

□安全管理・転倒など事故防止の手段・方法

□家族への関わり方・対応方法

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　）

**12．セミナーや研修を受講する場合の形態はどのような形態が良いですか？（複数回答可）**

□　職場以外の現地開催で対面形式での講義

□　職場以外の現地開催での技術演習

□　職場以外の現地開催での事例検討

□　職場での対面形式での講義

□　職場での技術演習

□　職場での事例検討

□　オンライン（Zoom等）でのライブ配信

□　オンデマンドでいつでも受講できる動画の視聴

□　資料やパンフレットの閲覧

□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**13．日常的な倫理的看護実践や子どもの心の準備に関する学習への要望、その他ご意見等がありましたらお書きください。**

ご協力ありがとうございました。